



体験しよう 備えよう 障害者の防災を考える集い 2017

さくらピア 避難所 体験



9/30(土)



毎年、どこかで必ず起きている自然災害。

私たちは、どう備え、地域の中でどう助け合えばいいのでしょうか。

事前にできる準備をしていますか？配慮を具体的に示すことができますか？

さくらピア避難所体験で、色々な人と交流し、大切な地域の社会資源を活用できるように、心の防災力を深めていきましょう。

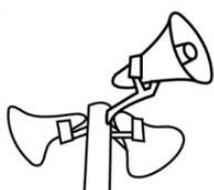

 伝えて

<<< プログラム >>>

① 避難・報告訓練

@さくらピア・あイトピア

▼09:30 受付開始 (@さくらピア 1階 ロビー)

 ▼10:00 開会


会長 あいさつ 豊障連会長 山下 徹

来賓 あいさつ 豊橋市危機管理統括部長

齋藤 誠一 氏

さくらピアより 事務長 本田 栄子

▼10:15 さくらピア出発 (あイトピアへ)

▼10:30 あイトピア到着 (@あイトピア 3階 多目的ホール)


ニーズ受付とボランティア受付

- ・ ニーズ受付 → 支援を頼みたい人がその内容を伝える
- ・ ボランティア受付
→ 支援をしたい人ができる事を伝える

▼11:45 アンケート記入、非常食受取、順次終了、解散



※引き続き、②③へ参加の方は、さくらピアへ戻り、各自昼食をとってください。

② 講演・避難所開設レイアウト実習

▼12:45 受付 (@3階 大会議室)

▼13:00 **開会**

来賓 あいさつ 長豊橋市障害福祉課長 **大野 忠司** 氏

講演会「避難所の課題」

～東日本、熊本支援の活動から～

講師 **水谷 真** 氏 (AJU 自立の家 所長)



▼14:00 移動 (1階体育館へ)

▼14:10 避難所開設レイアウト実習 (@1階 体育館)

- ・5つのグループに分かれて区画分け
- ・ダンボールベッドを作る

▼14:45 避難訓練と初期消火訓練

▼15:00 アンケート記入、参加賞配布、終了

▼10:00～
17:30

展示コーナーあれこれ

(@1階ロビー・体育館)

- ・ダンボールトイレ ・ダンボールベッド
- ・防災用品展示
- ・さくらピア避難所体験のあゆみ
- ・防災ラジオドラマ試聴コーナー ほか



③ 防活ミーティング・まとめ

▼15:50 **受付** (@3階大会議室) 地域別グループで着席

▼16:00 **開会**

来賓 あいさつ 豊橋市社会福祉協議会ボランティアセンター

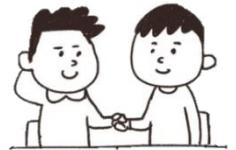
所長 **福岡 吉彦** 氏

話し合い

地域の避難所、福祉避難所、協定施設などについて思う事をグループごとに話し合います。

- ・ 地域の避難訓練に参加したことがありますか？
- ・ 家の備蓄品を準備していますか？

▼17:00 **発表** 話し合いの内容を発表します。



▼17:30 **解散** お疲れさまです。最後までありがとうございました！

～ 参加者のみなさんへ ～

今年も北九州豪雨災害の他、各地で災害が起こりました。豊橋の前芝町の竜巻がニュースで大きく報道されましたね。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、皆さん、さくらピア避難所体験に参加していただきありがとうございます。今回は、昨年までの宿泊をやめて、たくさんの方が参加しやすい日帰りの企画にしました。また、豊橋市市民協働推進課、豊橋市社会福祉協議会と連携して「伝える」練習をしてみましたがいかがでしたか？地域や職場、学校や行政が「防災」をテーマにいろいろな集いを開いています。そこに参加した一人一人がその一日一点だけで終わらせず、家族へ、友人へ、知人へ伝えつなげていくことが大切だと思います。困った時、助けて欲しい人も、助けてあげたい人もいつかどこかで逆の立場で巡り逢うこともあるかと思っています。

さくらピアで今日出会ったみなさん、また会いましょう。

一人はみんなのために、みんなはひとりのために。

さくらピア事務長 本田栄子

【資料①-2】福祉避難所・要支援者民間受入施設

福祉避難所

1	石巻老人福祉センター
2	下地老人福祉センター
3	大岩老人福祉センター
4	さくらピア
5	つつじが丘地域福祉センター
6	大清水地域福祉センター
7	あいトピア
8	八町地域福祉センター
9	牟呂地域福祉センター
10	豊橋市立くすのき特別支援学校

指定避難所での避難生活が困難な被災者がいる場合開設

避難行動要支援者民間受け入れ施設

①	シーサイド吉前	②①	豊橋ケアセンター
②	珠藻荘	②②	みのり
③	あかね荘	②③	明陽苑
④	自由の杜	②④	カサブランカ
⑤	豊橋ちぎり寮	②⑤	常盤
⑥	授産所ふくふく	②⑥	カサデヴェルデ
⑦	しろがね	②⑦	幸王寿園
⑧	童里夢	②⑧	大清水彩幸
⑨	豊生らばるか就労訓練工場	②⑨	倶楽荘
⑩	さわらび荘	③⑩	真寿苑
⑪	第2さわらび荘	③①	弥生王寿園
⑫	永生苑豊橋	③②	天伯
⑬	王寿園	③③	高師王寿園
⑭	彩幸	③④	みゆき
⑮	作業荘	③⑤	つむぎのて
⑯	暮寿苑	③⑥	フラワースーチ
⑰	ジュゲム	③⑦	新楽荘
⑱	ベルヴェールハイツ		
⑲	赤岩荘		
⑳	辰蔵苑		

地震・風水害等の大規模災害が発生した場合に、指定避難所等での避難生活が困難な高齢者・障害者等の避難所として受入協定を締結している民間社会福祉施設

＜ 参考 豊橋市役所ホームページ ＞

(様式3)

ニ ー ズ 把 握 表 No. _____

質 問 事 項	聞き取り内容	月	日		
1. ボランティアに依頼したい活動内容					
① 活動内容は、 どんなことですか。					
② 道具は必要ですか・お宅に揃ってますか。					
③ 活動に要する時間は、どのくらいですか。					
④ 活動に際して第三者の指示や援助は必要ですか。					
(2) なぜ、ボランティアに依頼したいのですか。					
(3) 何人、依頼したいのですか・その積算は。					
2. あなたは、ボランティア依頼のご本人ですか。					
(1) 依頼者が要救援者自身である場合					
① 氏名、性別、年齢、 住所、電話等連絡先					
② 同居しているご家族の構成など。					
③ 高齢・障害など特別なニーズの有無及び内容					
④ 家屋(階)被災状況			(応急危険度判定 / 全・半壊・一部)		
(2) 依頼者と要救援者が別人である場合					
① 要救援者の氏名等 (1)の①～④までの事項					
② 依頼者の氏名、性別、年齢、 依頼者の住所、電話等連絡先					
③ 依頼者と要救援者の関係					
④ 依頼者に関する本人同意の有無					
3. 留 意 事 項 (チェックリスト)					
安全性	重労働	安上がり	営業性	政治活動	宗教活動
4. 集 合 方 法					
集合時間及び場所					
集合場所までの経路や目印					
案内者の有無					
措 置	受 理	保 留	調査事項		担当者
	不 受 理	理由			
		代替情報の提供、他の機関や団体の紹介			

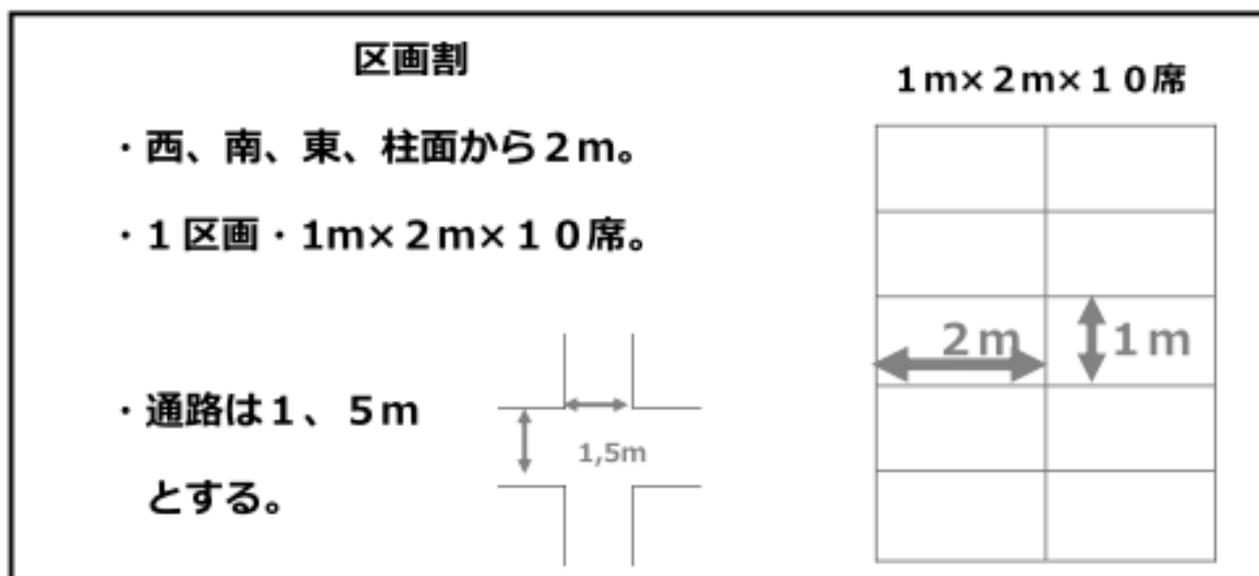
【資料①-4】 ボランティア受付票

2017

(様式2)					
受 付 表 (個人・団体兼用)					
受付年月日	年 月 日 (曜)		受付の状況		初めての受付 ・ 回目
氏 名			男 女	職 業 ・ 歳 団 体	
住 所	〒		T E L	() (携帯) - -	
ボランティア保険の加入状況			これまでのボランティア活動		
<input type="checkbox"/> 既に加入済 <input type="checkbox"/> 未加入 →・保険料 円負担して加入する。 ※申込用紙に記入してください。			<input type="checkbox"/> 今回が初めて <input type="checkbox"/> 2回以上 (これまでの主な活動内容を教えてください)		
特 技					
参加した団体 ・ グループの責任者ですか。			はい ・ いいえ		
参加した団体 ・ グループの現地活動可能期間					
月 日 () ~ 月 日 ()					
災害ボランティア登録をしていますか。			はい ・ いいえ		
(登録先)					
災害ボランティアのコーディネートに関する研修等を受講したことがありますか。			はい ・ いいえ		
(講座の主催)			(受講年度)		
年度					
-----以下は災害ボランティアセンターで記入します。-----					
※受付番号		※保険		※受付担当	
※受付時間	8・9・10・11・12・1・2・3・4・5 / 午前・午後 時頃				
※区 分	居住地内活動 ・ 県内活動 ・ 県外活動 / 物資提供 / 専門 /				
※備 考					
注) 1 受付をしたことがある人は、太枠内だけを記載してください。 2 団体の方も、一人ひとりがこの書式を記載してください。 3 活動中の事故については、豊橋市市民活動総合補償制度の対象となりますが、余震などの天災に起因する事故については対象外となります。天災への備えを希望される方は、ボランティア活動保険の天災特約付プランにご加入ください。					

(A3版にして拡大して利用)		(様式5)
活 動 紹 介 表		No.
		月 日 (曜)
活 動 先	豊橋市	町
		さん宅
集合 開始 時間	:	~
募集人数等	人~	人
(内訳)		
	男 性	人~ 人
	女 性	人~ 人
活 動 内 容		
説明担当 :		
(活動希望者は、下に名前カードを貼付する。)		

【資料②-1】 区画分け手順



《区画分け実習の手順》 ※グループごとに実施

1. 壁からの距離を測って印しるしをつけましょう。
2. 協力して床に区画割りのガムテープを貼ってみましょう。
3. 手のあいている人は、ダンボールベッドを組み立ててみましょう。
4. 完了したら、通路を車イスで通ってみたり、2階から写真を撮ったりしましょう。

♥わかりやすく協力をお願いするには、どんな言葉かけが良いでしょうか？

【資料③-1】防災度チェック表

《あなたの防災度チェック》

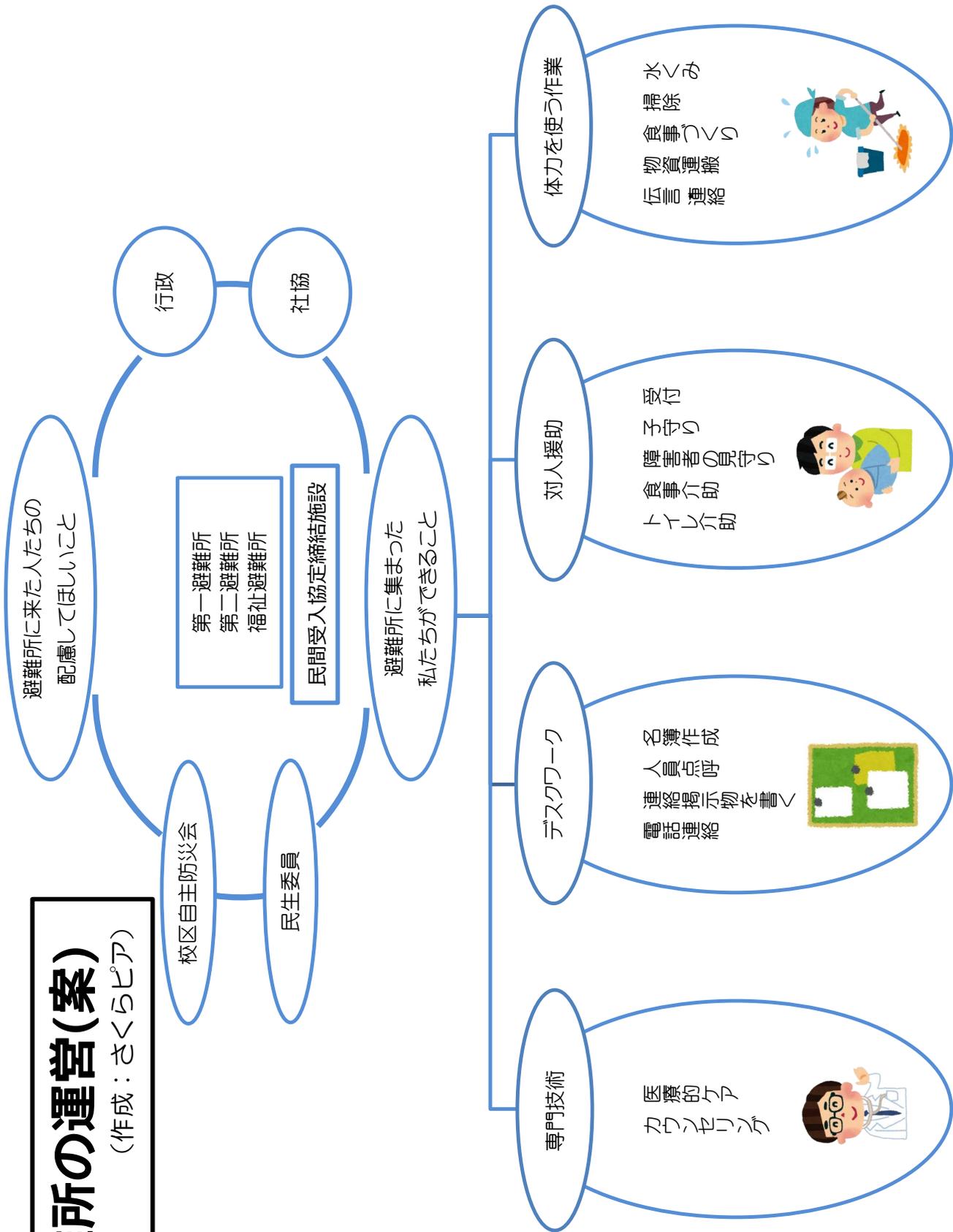
◆次の質問に「はい」「いいえ」でお答えください。

1. 避難所がどこか知っていますか？
2. 職場や町内会等の防災訓練に参加していますか？
3. 地域内の危険箇所を知っていますか？
4. 地域の防災倉庫はどこにあるか知っていますか？
5. 災害時の家族の集合場所や連絡方法を決めていますか？
6. ご自宅の耐震性を理解していますか？
7. 家具は固定してありますか？
8. 非常用の飲料水・ラジオ等のある場所は、家族全員がわかっていますか？
9. 消火器・三角バケツ等の初期消火用器材を備えていますか？
10. 人工呼吸などの救命活動に関する講習を受けたことがありますか？



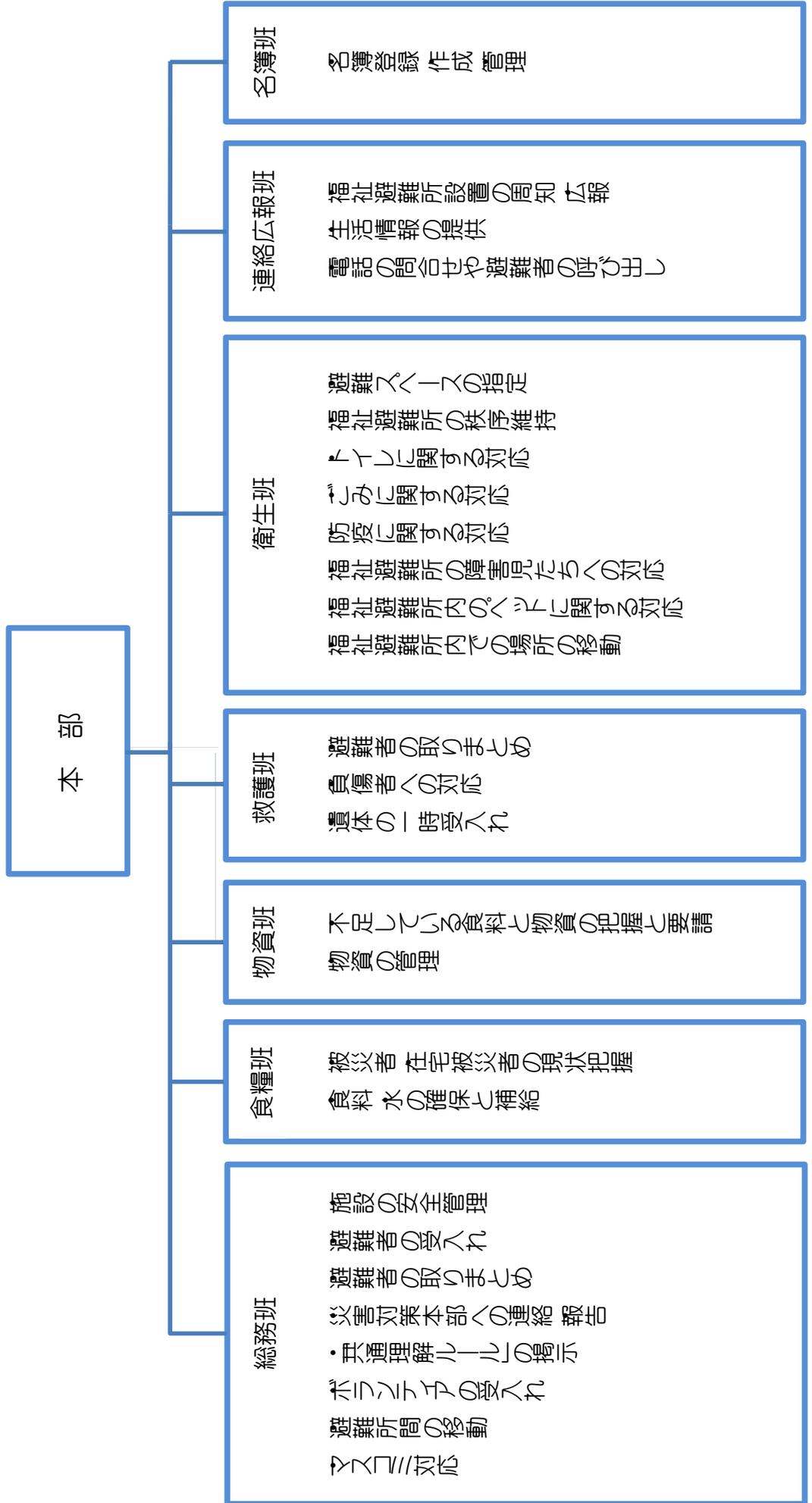
避難所の運営(案)

(作成：さくらピア)



避難所組織図(案)

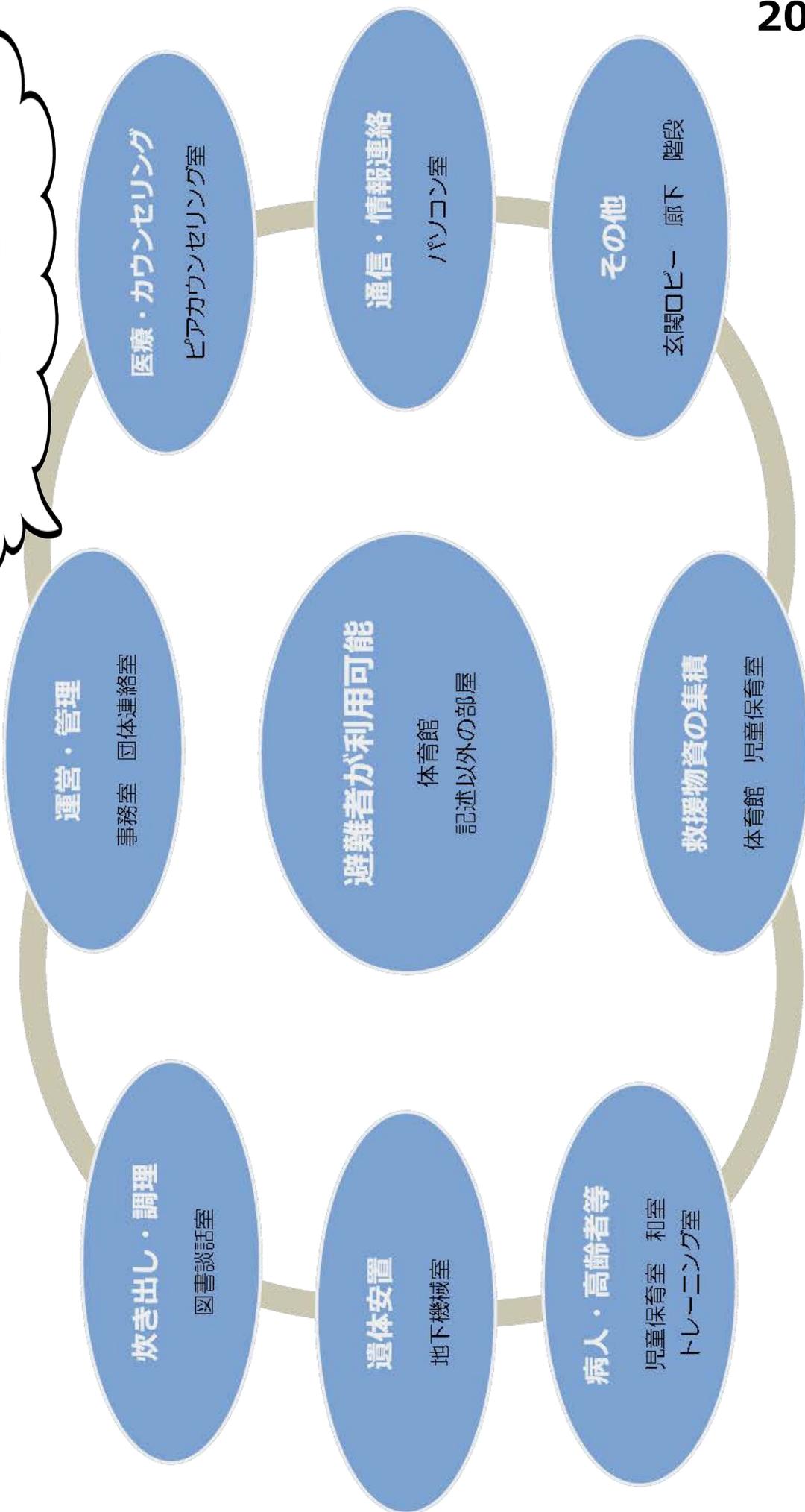
(作成：さくらピア)



避難所の利用スペース分類(案)

(作成：さくらピア)

仮設トイレはどこに設置するの？



避難所における共通理解ルール（案）

豊橋市災害対策本部

この避難所の、共通理解ルールは次のとおりです。
避難された方は、守るよう心がけて下さい。

- 1 この避難場所は、地域の防災拠点です。
- 2 避難所は、電気、水道などライフラインが復旧する頃を目途に閉鎖します。
- 3 避難者は、家族単位で登録する必要があります。
 - ・ 避難所を退所する時は、委員会に転居先を連絡してください。
 - ・ 犬、猫など動物類を室内に入れることは禁止します。
- 4 職員室、保健室、調理室など施設管理や、避難者全員のために必要となる部屋または危険な部屋には、避難できません。
 - ・ 避難所では、利用する部屋の移動を定期的に行います。
- 5 食料、物資は原則として全員に配給できるまでは配給をしません。
 - ・ 食料、生活物資は避難者の組ごとに配給します。
 - ・ 特別な事情の場合は、委員会の理解と協力を得てから行います。
 - ・ 配給は、避難所以外の近隣の人にも等しく行います。
 - ・ ミルク、おむつなど特別な要望は、市の職員で対処します。
- 6 電話は、受信のみを行います。
 - ・ 放送により呼び出しを行い、伝言を伝えます。
 - ・ 公衆電話は、緊急用とします。
- 7 飲酒、喫煙は所定の場所以外では禁止します。なお、裸火の使用は厳禁とします。

避難者のみなさんは、当番などを通じて
自主的に避難所運営に参加してください。

避難所の開設が長期化することが予想される場合は、速やかに掲示する。
(※一部修正しています)

この様式を使う場合は、**表面**と**裏面**を両面コピーしてください。

ひなんじょりようしゃとうろくひょう

避難所利用者登録票 **表面**

				避難所名		受付番号		
記入日		年 月 日 ()		記入者氏名				
住所		〒 -		自治会名				
電話		() -		自宅の被害状況		全壊 / 半壊 / 一部損壊 全焼 / 半焼 / 床上浸水 流出/その他()		
携帯電話		() -		滞在を希望する場所		<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> テント(避難所敷地内に設置) <input type="checkbox"/> 車両(避難所敷地内に駐車) <input type="checkbox"/> 避難所以外の場所 (自宅 / 他())		
FAX		() -						
メール		@						
その他連絡先(親戚など)		〒 - () -						
避難所を利用する人 (避難所以外の場所に滞在する人も記入)				けがや病氣・障害・アレルギーの有無、妊娠中、服薬内容、使用できる言語など、特に配慮が必要なこと		運営に協力できること(特技・免許)		
氏名		生年月日・年齢		性別		必ず確認！ 安否確認への対応※		
世帯主 家族	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
	ふりがな		明/大/昭/平/西暦 年 月 日 (歳)		男 女		有 無	
ペットの状況		<input type="checkbox"/> 飼っていない <input type="checkbox"/> 飼っている→右欄へ		種類(頭数)		<input type="checkbox"/> 同行 <input type="checkbox"/> 置いてきた		
自家用車(避難所に駐車する場合)		車種		色		ナンバー		

- ・世帯(家族)ごとに記入して、受付に提出してください。
- ・ご記入いただいた情報は、食料や物資の配給や健康管理などの支援を行うため、避難所運営のために必要最低限の範囲で共有します。また災害対策本部にも提供し、被災者支援のために豊橋市が作成する「被災者台帳」にも利用します。

※安否の問い合わせがあった場合に、住所(〇〇町〇〇丁目まで)と氏名、ふりがなを公開してもよいか個人ごとに必ず確認してください。

避難所利用者登録票 裏面：運営側（受付担当）記入用

<登録時>

- 運営側（受付担当）は、記入者とともに表面の記載を確認する。
 - ・安否確認への対応（公開・非公開）個人ごとに○がついているか。
 - ・けがや病気、障害、アレルギーの有無、妊娠中、使用できる言語（または日本語が理解できるか）など、とくに配慮が必要なことはあるか。
→詳細を聞き取ったら！「本人からの申告・聞き取り事項」に記入
- 受け入れ先

受け入れ先 （滞在先）	場所	<input type="checkbox"/> 避難所 <input type="checkbox"/> テント（避難所敷地内に設営） <input type="checkbox"/> 車 両（避難所敷地内に設営） <input type="checkbox"/> 避難所以外の場所（自宅 / その他（ ））		
	グループ名		間仕切りの 区画番号	
本人からの申告・聞き取り事項など				

<転出・退出後>

「退所届」受付後に記入し、「退所届」と合わせてファイルに綴じること

退所届	受付日	年 月 日（ ）
	受付番号	

3章 避難所の運営

1. 避難所運営

(1) 避難所

避難所とは、災害により家屋に相当の被害を受け、居住できないと判断した時に一時的に生活する場所です。豊橋市では、校区・地区市民館や小中学校などを指定避難所として指定しています。

(2) 避難所運営

避難所では、避難所を利用する人（避難所以外の場所に滞在する被災者を含む）の自主運営を原則とします。

豊橋市では、避難所に配置する市の職員（避難所要員）をあらかじめ決めていますが、大規模地震などにより、長時間にわたり避難所を開設する必要がある場合、実際に避難所の運営を行うのは、避難された住民の方自身になります。

避難所での生活は不安と不自由を伴います。そんな時に感じる不公平感やあとあとまで尾を引いてしまうため、避難者に対してくれぐれも不公平感を抱かれないような配慮が必要です。共同生活をしていくに当たって、ゴミやトイレなど、実情にあった避難生活のルールを決めることや、壁新聞などを企画し情報の共有や伝達方法を構築する手段を考えます。高齢者や子ども、ハンディキャップを持っている「要配慮者」や性的少数者（LGBT）に対し、必要な支援について配慮することも重要です。

(3) 避難所要員

避難所要員は、災害が起きた時や災害の発生が予想される時、市の災害対策本部からの指示を受けて、担当する避難所を開設、運営する市の職員です。基本的に第一指定避難所に2名、第二指定避難所に2名以上が配備されます。

(4) 避難所運営マニュアル

災害時に避難所を円滑に運営することが出来るよう「避難所運営マニュアル」を作成し、指定避難所に保管してあります。平常時から目を通し、活用してください。

防災ラジオドラマ マンガ編 「障害者が避難所に来たら」

さくらピア事務所にて
好評販売中
(1冊100円)



★約 8500 冊が読まれています！(2017年9月現在)

【主な頒布先】
豊橋市内公共施設 (寄贈)
豊橋市内中学校 (寄贈)
豊橋市医師会
豊橋市歯科医師会
豊橋・豊川・蒲郡信用金庫
常滑市等の自治体
各社会福祉協議会
各障害者団体 ほか
青森から沖縄まで全国に展開中

【防災ラジオドラマ】

- 2014年9月 さくらピア避難所体験 夜の部 シナリオ作成
防災ラジオドラマコンテスト 最優秀賞受賞
- 2015年 豊橋市が脚本を音声(CD)化、各種研修に活用
防災ラジオドラマコンテスト 作品活用賞受賞
- 2016年9月 マンガ版 「障害者が避難所に来たら」発行
- 2017年1月 マンガ版 第2刷
- 2017年2月 防災教育チャレンジプラン防災教育大賞 受賞
- 2017年6月 豊橋市内全中学校に寄贈 (各 40 冊)
- 2017年8月 マンガ版 第3刷

読んだら家にしまわずに、
職場・学校・地域のみんなに見せてください！

- 主 催 : 豊橋障害者(児)団体連合協議会
- 共 催 : 豊橋市
- 後 援 : 豊橋市社会福祉協議会、豊橋善意銀行
豊橋市教育委員会、中日新聞社、東愛知新聞社
東海日日新聞社、株式会社エフエム豊橋
豊橋ケーブルネットワーク株式会社[ティーズ]
- 協 力 : 豊橋市消防本部中消防署
豊橋市災害ボランティアコーディネーター連絡会
豊橋防災ボランティアコーディネーターの会
常友防災株式会社、東海消防設備株式会社
日本コカ・コーラ株式会社
株式会社サン・カンパニー
日東電工株式会社 他

順不同、敬称略

 さくらピア (豊橋市障害者福祉会館) 

〒440-0812 豊橋市東新町15番地

毎週金曜日更新!

TEL : (0532) 53-3153 FAX : (0532) 53-3200

E-mail : sakurapia@hosyoren.jp HP : <http://hosyoren.jp/sakurapia/>

開館 : 午前9時~午後9時 休館 : 月曜日、祝日 (月曜日が祝日の場合は翌日)